

かけはし

No.167
2021.7

岩手県倫理法人会ニュースレター 令和3年7月



設立30周年記念式典 1,350社達成記念

設立30周年記念式典 1,350社達成記念1,2
設立30周年記念 特別モーニングセミナー in 北上3
女性委員会主催セミナー 経営者のための夫婦道4
岩手県倫理法人会 キャリア会発足式5
第3期 岩手倫理経営塾 経営計画発表会・卒業式6
おらほの食自慢7

ホームページ
更新しました！
ご覧下さい。



設立30周年記念式典



経過報告 小川廣文幹事長



謝辞 及川元一会長



1,350社達成の立役者
小玉淳浩普及拡大委員長



歴代会長へ感謝状贈呈



祝辞 達増拓也岩手県知事



おめでとうございます。乾杯



祝賀会でのひとコマ



黙食の励行



中締め

去る6月4日(金)に、ホテルシティプラザ北上にて「岩手県倫理法人会設立30周年記念及び1,350社達成記念式典」が、一般社団法人倫理研究所丸山敏秋理事長ご出席のもと新型コロナウイルス対策に万全を講じて開催されました。当日は、あいにくの天候の中、県内外のご来賓含め総勢約110名が出席しました。

まずは、小川廣文幹事長より岩手県倫理法人会のこれまでの歩みと、最終的に目標である1,350社を達成できたという経過報告がありました。そして、第5代佐々木正博会長から第9代宮澤俊次会長までの歴代岩手県倫理法人会会長への感謝状の贈呈が行われました。式辞では、丸山敏秋理事長から柳田邦男の「遠野物語」を例にし、「東北には日本人の倫理観の根本である先祖の御霊を祀るという現代の日本人が忘れていているものが残っており、東日本大震災から10年が経過し、このコロナパンデミックの最中にもかかわらず、1,350社の目標を達成したということは、何かこの東北という地の力を感じられずにはいられない。」と語られておられました。

及川元一会長の謝辞では、「本年度も全国で周年記念並びに目標達成式典が企画されているが、岩手県が全国のトップを切って式典が開催されるとい



特別モーニングセミナー in 北上

6月5日早朝6時いつものように声高らかに丸山敏秋理事長を迎えてのモーニングセミナーが始まった。参加者は93名。

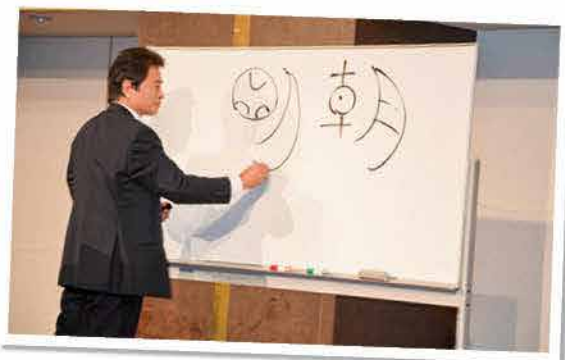
及川元一会長は「1,355社を成し遂げるために、会員の皆様にはご苦勞をおかけしました。昨日はみそぎを思わせる天候、今日は打って変わって、晴れ晴れとした良い天気にも恵まれた。2年後は私が会長でなかったとしても1,500社にしたい、岩手県のために益々のお力添えを賜りたい」との力強い挨拶であった。

丸山理事長の講話は、「西暦2025年はあるべき人間の姿が変わる転換期、今のうちからどう行動すべきか考えておくように。倫理は自分自身の心を磨く。そして、素直な心を取り戻す。経営者は学んだことを企業に活かすこと、清明心を保つこと。運命自招『天は自ら助くる者を助く』』と締めくくった。

最後の日當事務長からの連絡事項の中で、次回丸山理事長の講話は40周年記念の際にということが伝えられた。ユーモアある日當事務長の言葉で会場が和んだのが印象的だった。

モーニングセミナー後の朝食会では、事前予約した参加者が丸山理事長を囲み、黙食を励行し、食事後には参加した各単会会長3人から感想をいただき和やかな雰囲気の中で終わった。

北上市倫理法人会 広報委員長 千田 博子





女性委員会主催

経営者のための夫婦道

5/26(水)

5月26日(水) 岩手県倫理法人会 女性委員会主催のセミナーが『ホテルグランシェール花巻』で行われました。当日は、『経営者のための夫婦道 ~女性はゴムまりのごとく、男性は機関車のごとく~』と題して、約100名の参加となりました。

講師は渡邊由紀子氏、ワタレイ株式会社(冷凍冷蔵や空調換気設備等の設備会社) 常務執行役員サポート部長で、2014年には栃木市倫理法人会 会長を務め、現在は栃木県倫理法人会普及拡大委員会副委員長を務めていらっしゃいます。

はじめに趣旨説明が佐々木麻路女性委員長からありました。講師に大きな病気の診断が出て、通常であれば中止か延期となるところ、渡邊由紀子氏の5月に岩手に来たい!という想いを受け、盤石にしてお迎えするという女性委員会の決意で、今回の開催となりました。

講師からは、家庭と仕事を両立させることが重要で、家庭と経営は切り離せないという次のような実例をお聞きすることが出来ました。

夫婦関係がギクシャクして家庭がうまくいっていない時に、社内で反発する社員が出たり、空気が悪くなったりして、会社もうまくいなくなりました。

そのような中で倫理指導を受けた時に ①倫理は順序が大切 ②役を知り 役を超えない この2点の大切さを指導されました。また『夫婦の絆』という本を頂き、その中には『幸せは元と心を合わさなければ成就しない』とありました。

夫と心を合わさなければと思い、毎朝夫と互いの名前を呼びあって挨拶する習慣をつけたら、夫婦の関係が改善されてきて、社員も指示をしっかりと聞くようになりました。夫と向き合って挨拶することで、お互い心を合わせることが出来、夫婦関係や会社の雰囲気も良好に向かいました。

ある時、ご主人である渡邊嘉一氏からもらったラブレター。その内容は『いつまでも愛され続ける妻になるには、男が別れたくない妻』というものでした。

- ①尊敬してくれる妻 ②ポジティブな妻 ③教わり上手な妻
- ④甘えさせてくれる妻 ⑤1人の時間をつくれる妻
- ⑥女を失わない妻(キレイにござっぱりと女性らしく)
- ⑦自立した妻(頼り切らない) など



まだまだ足りていない自分なのかな?と置いていたところ、夫が100点満点だよと言ってくれたとき、嬉しくて涙が出た。改めて一生添い遂げたいと思った、とのお話でした。

講演後に講師の旦那様(ワタレイ社長 渡邊嘉一氏)から「共に歩む」と題し、闘病100日間の経緯や振り返りをして頂きました。三田望 法人アドバイザーからも夫婦道解説をいただき、集合写真撮影、最後に佐々木麻路委員長から挨拶がありました。

参加者にとって夫婦のあり方や企業経営のヒントのみならず、命や人生を深く考える良い機会になりました。岩手県倫理法人会 広報副委員長 遠藤 哲也



講師 渡邊由紀子氏



渡邊嘉一氏



佐々木麻路女性委員長挨拶



岩手日日新聞記事



4/27

岩手県倫理法人会 キャリア会発足式

4月27日（火）岩手県倫理法人会 キャリア会発足式が花巻市『湯の杜ホテル志戸平』にて46名の参加のもと行われました。

このキャリア会は、単会の会長経験者から構成され、アドバイスや応援を頂くことで、今後更なる発展を支援して頂くことを目的としております。

11時から開会したキャリア会は小川廣文幹事長から発足にあたっての経過報告、若谷祥子キャリア会事務長から規約・規定の確認、役員選任後にキャリア会 又川俊三初代会長から挨拶頂きました。

設立に至るまでの経緯や当時の思いなどを伝え、『人格を更に磨き、このキャリア会が羨ましいと思ってもらえるよう誇りある会となり前進してゆきたい』と挨拶頂きました。

昼食会は黙食で行われ、午後からは特別講演会として、講師に北海道倫理法人会キャリア会 堀田昌資会長から、テーマは『キャリア会が目指すもの』で講話頂きました。

当日は大いに盛り上がり、6月4日の岩手県倫理法人会設立30周年と1,350社達成に繋がるとても良い会となりました。



岩手県倫理法人会 広報委員長 津田 徳明



小川廣文幹事長 経過報告



講師 堀田昌資氏



又川俊三初代会長挨拶



黙食での昼食

第3期 岩手倫理経営塾 経営計画発表会・卒塾式

岩手県倫理法人会 設立 30 周年記念及び 1,350 社達成記念式典の翌日 6 月 5 日 (土) には、あえりあ遠野にて「第 3 期 岩手倫理経営塾 経営計画発表会・卒塾式」が行われました。第 3 期の卒塾生は総勢 9 名。うち、6 名が女性ということで近年になく女性の参加率が高い経営塾になりました。

まず、経営計画発表会では、各塾生から入塾に至る経緯や、この日を迎えるにあたっての自分との向き合い方、入塾してからの変化等について報告があり、自身の決意や塾生自ら作成した経営理念やビジョン、経営基本方針についての発表がありました。入塾してから半年の間に様々な葛藤があり、社員を引っばっていくリーダーとしてどうあるべきかを必死で考えてきたことが伝わり、涙ながらに感謝の意を表す場面が多く見られました。この発表会では塾生のご家族や社員も招待し、感動を共有する時間もあり、各塾生が集大成の場として臨む設えにとっても相応しいものであったと感じました。

そして、塾生全員の経営計画発表が終わった後に卒塾式があり、佐々木勝智塾頭から全員に修了証書が手渡されました。県会長祝辞では及川元一会長から、「主催者としてコロナ禍でも開催できたことは本当に良かったと思える塾生一人一人の成長だったし、皆さんの会社を良くすることが地域をよくすることに繋がるので今日の日をスタートにさらに頑張ってもらいたい。」とエールを送りました。

今年度の岩手倫理経営塾は終了しましたが、既に卒塾した 1 期生や 2 期生が設営で携わり、一人一人の塾生のフォローやサポートを全力で行っていることが特筆すべきところであると思いました。

岩手県倫理法人会 広報委員長 津田 徳明



ここからがスタートです



修了証書授与



ご家族からのメッセージ



各塾生手作りの経営計画書



所属単会から会員も駆け付けました

第 3 期 岩手 倫理経営塾 塾 生



及川 和明 塾生 (盛岡)



菊池 奨 塾生 (盛岡みなみ)



熊谷 裕子 塾生 (花巻)



菅原 かずみ 塾生 (北上)



菅原 裕文 塾生 (北上)



及川 旺子 塾生 (遠野)



唯是 里美 塾生 (遠野)



高木 久子 塾生 (けせん)



菊池 利香 塾生 (一関)

おらぼの食自慢

あじ みはしや 味の味橋屋

〒028-3618 岩手県紫波郡矢巾町駅東1丁目1-22 YAHABAR (ヤハバル) 内
TEL・FAX 019-697-8595 営業時間：11:00～20:00 定休日：不定休

今回紹介するお店は、矢巾駅東口徒歩1分で29年前から営業している味の味橋屋さんです。おすすめ商品は、大判焼き、うすやきで特徴は昔ながらの作り方と味。

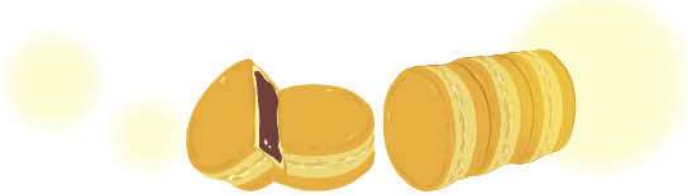
定番商品としては、大判焼きのベーコンとうすやきのしょうゆがあり、今だけの限定でミハコパンとベーコンドッグを販売している。

大判焼きの日替わりメニューが50種類以上あり、行くたびに違う味が楽しめる。

客層は、学生を中心に世代を超えて様々で、今後の新たな取り組みとしては予約の方法を電話やFAXの他に簡素化すること、ふるさと納税の返礼品などを検討している。

昔ながらの商品を品質を保ちながら新しい味にチャレンジするなど工夫も怠らない。

何よりお客様を大事にしている店主は2代目で、引き継いで11年、可愛いPOPを娘さんが担当するなど柔軟に変化を続けている。



紫波・矢巾準倫理法人会 広報委員長 昆 浩司

つぶやき

今年度、小学校PTA会長の任命を受け、初めてではありますが、任命された事に感謝し、職務を務めております。昨年からの新型コロナウイルスの影響で運動会、学習発表会など短縮、若しくは中止などの影響が出ています。また修学旅行は県外から県内に変更など学校側も臨機応変に対応しているようです。コロナ禍の影響で、地産地消、県外から県内へと様々なものが県内に目を向け意外と県内需要が高まってきているのではと思いました。コロナ禍で地産地消、県内の魅力など見直す良いきっかけになり新型コロナから学んだ循環型社会と繋がるのではないかと期待します。

二戸市倫理法人会 広報委員長 松本 稔

岩手県倫理法人会事務局

〒020-0022 岩手県盛岡市大通 3-1-23 クリエイトビル 300
TEL 019-606-1141 FAX 019-606-1142

「かけはし」に対するご意見・ご感想をお待ちしております。E-mail : info@iwate-rinri.jp